



令和8年度 第6号 令和8年7月1日(水)

ならぬことはならぬものです

先日、ふとしたことから、数年前に福島県へ旅行したことを思い出しました。その旅行では、江戸時代の会津藩が設立した『日新館』という藩校(跡)を訪れました。日新館の正門付近には「什の掟(じゅうのおきて)」という大きな立て札が掲げられていました。「什の掟」とは「人としての心構え」であり、日新館に入るためにはこの心構えを身に付けておかねばならなかったそうです。

什の掟には、「虚言(嘘)を言うことはなりませぬ」「卑怯な振る舞いをしてはなりませぬ」「弱い者をいじめてはなりませぬ」等々の掟があり、最後に「ならぬことはならぬものです」という一文で締めくくられています。当時の会津藩では、各々の掟を守らねばならない理由を問うことは許されず、仮に問うたとしても【ならぬことはならぬものです】という一言で一蹴されてしまったとのことでした。江戸時代という遙か昔のことであり、現代とは価値観が異なる世情であったことは重々承知しつつも、今でも(今だからこそ)通用するであろう合点のいく部分がありました。

ことにあたっては、その「理由」に重きを置くことは大切だと思います。しかし、規範遵守や公衆道徳、社会正義などよりよい社会を育てるための道理には、時として【ならぬことはならぬものです】という強い信念と態度・姿勢で臨むことも肝要だと思います。

三郷小児童には、学校生活の様々な活動を通して「人としての心構え」を身に付け、すすんで正義を貫くとともに不正を許さない強い信念と毅然たる態度がとれる人間になってもらいたいと願うこの頃です。



三郷小は多くの方々に支えられています

三郷小学校はたくさんの方々に支えられています。教育活動全体に協力してくださっている「学校評議員」の方々、安全な登下校を支えてくださっている「交通指導員」の方々、「敬老会の見守り」や「読み聞かせ」等の各種ボランティアの方々、ひまわり学級を支援してくださっている「手をつなぐ育成会」の方々などです。皆さん、児童が安全かつ快適に学校生活を送れるよう尽力してくださっています。直近の一例として、今年3月に南校舎外の西縁にある側溝に専門業者によってグレーチングが設置されましたが、これは学校評議員の方々が市教育委員会へ粘り強く働きかけていただいた成果です。おかげで、南校舎の西縁周辺を児童が安全に通れるようになりました。

学校生活を安全かつ快適に過ごせるように自分たちを支えてくださっている地域の方々の存在に気づき、その方々へ感謝の念がもてるような三郷っ子に育ってほしいと願っています。



命を守る3つのキーワード

交通安全については、日頃より繰り返し指導をしており、また、登下校については交通指導員さんや敬老会の見守りボランティアの方々のご尽力等により、幸いなことに今年度に入ってから本校児童に関わる交通事故は発生しておりません。

ただし、本校周辺(校区内)については、車がスピードを上げて走行する(歩道のない)道路や交通量の多い割に道幅が狭かったりカーブやブロック塀などによって見通しの悪い交差点があったりして、危ないと思われる箇所をしばしば見かけます。児童の登下校の様子を見ていて、ハラハラしたりドキッとしたりすることが少なからずあります。

交通事故に遭わないよう、自分の命は自分で守るよう、次の3つをキーワードにして学校では指導しておりますので、ご家庭でも併せてご指導をお願いします。

しっかり止まる

何度もよく見る

安全を確かめてから動く

近々、夏休みに入り、高学年児童にあっては自転車に乗る機会が増えるとともに低学年児童についても普段は出歩かない時間に道路を歩くことが多くなり、交通事故に遭遇する危険性は学期中と比べて高まると思います。子どもたちだけで活動・移動する機会が多くなる時期となりますので、その際に交通事故に遭わぬようご家庭における注意喚起についても、あらためてよろしくお願いいたします。



小学生の頃から体幹を整えることが大切です

6月17日に、市内で開業している整骨院の先生を講師としてお招きした「けが防止のためのストレッチ講座」を5年生を対象として今年度も実施しました。

まず最初に座学で「生涯にわたって適切な運動を行う大切さ」を学び、その後に「姿勢がよくなる魔法のストレッチ」の実習を行い、よい姿勢を保ったり大きなケガを未然防止したりするなど体幹を



整える(鍛える)方法を体験しました。ストレッチ運動を通して肩甲骨・股関節・骨盤周辺をほぐしたり内もも・もも裏・お尻の筋肉を伸ばしたりしました。「痛いなあ」「なかなか思い通り動かない」などの声が児童の口から聞こえましたが、その分実施した効果は感じられました。講座の内容は、保健室廊下にも掲示され、5年生以外の児童へも啓発的に伝えるようにしています。

見た目の美しさはよい姿勢からと言われます。また、体の柔軟性を高めることによって、小さなケガを防いだり大きなケガをしてしまうところを小さなケガで済ませたりすることができま。関節や筋肉は適度に動かしていないと硬直して、全身がカチコチ(!)になってしまうそうです。身体が発達途上の年代のうちに自分に合ったストレッチを日常的に行い、柔軟性を高めて大きなケガを防げる体をつくりあげたいものですね。

6月16日～25日にかけて実施した授業参観ならびに学級・学年懇談会へは多くの保護者の皆様にご来校いただき、感謝申し上げます。授業を受けているお子さんの姿をご覧いただくとともに学級の雰囲気を感じていただけたことと思います。今後も機会あるごとにご来校いただき、本校の教育活動についてご理解いただきますようお願い申し上げます。